

幼保連携型認定こども園 **西神戸 YMCA 保育園** 3月えんだより

「強く、雄々しくあれ。」 (ヨシュア記 1章5～6節)

2022年度も最後の月を迎えます。4月に始まった今年度もご支援、ご協力を賜り、感謝申し上げます。ありがとうございました。感染症だけではなく、今年は寒波をはじめ寒い日々が続き、過日は、世界を震撼させたトルコ、シリアでの大地震等、不安や心配な日々は拭えない中を過ごしています。

しかし、時折訪れる暖かな日は、来る春の訪れや希望を感じさせてくれます。春が来ますと学年が一つ上がり、5歳児のお友達は、いよいよ小学校への進学の時を迎えます。一つ学年が上がる事は、親の手、大人の手から少しずつ離れていくとも言えます。しっかりと歩くことができた、会話ができる、お友達のことを考えるようになった…等、一步一步自らの力で生活をし、学ぶ力が備わっていくと共に、手が離れますが、大人の不安は同時に増すのが子どもの育ち、子育てなのかもしれません。子育ては、先が見えない不安との付き合いでもありますし、先が見えない事への喜びや希望でもあります。

今月の聖句は、神様は、命じた全ての律法を守るようにと語られました。「人に対して怒りや憎しみを抱いてはならない」「父母を敬え」「偽証してはならない」「盗んではならない」等、所謂モーセの十戒と言うものですが、その本質は、人間が何かを得たいというものを得てしまうと、又得ようとする、神様の約束を忘れて欲に走ってしまう時があります。私達の日々の歩みにおいて、神様の命令を守るというのは、欲に対して、神様の教えを省み、謙る強さや勇気を持つようにと勧めています。「強く、雄々しく」とは、先の見えないと不安な私達ですが、自らの欲に従わない強さと勇気を持つようにという意味であります。

子ども達が育つ日々において、苦しまないで欲しい、元気でいて欲しい、生き生きと過ごし、災害や災難、怪我をしないで欲しい等、沢山の願いがあります。しかし、大人にできる事は、子どもが一日一日育つ日々において、又子どもが選択することや岐路に立って迷った時に、大人の価値観ではなく、何が正しいことなのか、何が正しい生き方なのかを問い、共に考え、そして決断したことに対して、賛同し、激励していく事しかできないのかもしれません。それが、今とても重要な事のように思います。不確実な時代に歩む子ども達に、恐れず、おののかず、進むところに神様がつながっておられることを信じて歩んでほしいと願ってやみません。

年主題 「つながって」～今、わたしを生きる～

3月	乳児 (0,1,2歳児)	幼児 (3,4,5歳児)
月主題	おおきくなった	心はずませて
月の願い	<ul style="list-style-type: none"> ・大きくなったことを喜ぶ。 ・自分でできるという気持ちや、したいという意欲をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・神様の守りの中で、大きくなったことを喜び、感謝する。 ・新しい生活へ安心して向かおうとする。 ・友達と協力してアイデアを出し合い、工夫しあそびを充実させる。
讚美歌	つくしのように	ありがとう幼児讚美歌Ⅱ25